全大教新聞

2019年 1月10日

第355号

【発行所】
全国大学高専教職員組合
（略称・全大教）

［PDF 版（全面カラー）］
http://zendaikyo.or.jp/?page_id=107

［電話］03-3844-1671

［HP］http://zendaikyo.or.jp/

［所在地］〒110-0015
東京都台東区東上野
6-1-7 MSK ビル 7 階

＊ 組合員の購読料は
組合費に含まれて
います（一部 30 円）

2019

新春座談会

苦難の時こそ連帯のチャンス！

組合活動で本来の大学を取り戻そう

今年最初の全大教新聞は、『「大学改革」という病』（明石書店）を上梓され、発信を強めておられる徳島大学の山口裕之さんをお招きし、中富 中央執行委員長、岡田 教文部長で座談会を開きました。

一橋大学法学研究科修士課程修了（2005）。専門は憲法。特に、私人間における人権問題などについて、日本とドイツを比較しながら研究を進めている。

高知大学人文社会科学部准教授
全大教教文部長
岡田健一郎

東京大学人文社会系研究科博士課程単位取得退学(1999)。2002年博士（文学）。専門はフランス近代哲学（コンディヤック）、科学哲学、エピステモロジー。

徳島大学総合科学部教授
徳島大教職組書記長
山口 裕之

名古屋大学法学研究科博士後期課程単位取得退学（1983）。専門は憲法。いじめ問題を法学的観点から、更に、大学自治や学問の自由についても研究している。

岡山大学法学部教授
全大教中央執行委員長
中富 公一

業績主義の「大学改革」ではうまくいかない

中富　現場の疲弊感が深まっていると思いますが、原因は何だと思われますか？

山口　要は「改革づかれ」でしょう。改革が自己目的化していて、現状の組織がうまくいっていても改組を強要されたりする。

中富　大学改革が言われだした頃は、学生教育をしっかりという意識改革などの意義もあったのですが、今は単なる組織いじりです。そして、改革をやれば失敗したとは言えない。反省なき改革、その連続です。勉強する時間がなくなっています。そうした中で学生教育についてはどうですか？

山口　教育効果の客観的指標を立てるのは難しいですが、最近の大学はしっかりと教育に取り組んでいますよ。入学時に全然書けなかった学生が4年生できちんと卒論を書いてくる。そうした事ができるようになるために、1年時の学部共通科目で、Eラーニングと組み合わせた授業をして、毎回コメントをしています。

中富　すごいですね。わたしもシャトルカードを書かせて毎回読んでます。アメリカではTAや秘書を使ってやれることを、日本では教員ひとりでやれと、大変なことを要求しているということを、改革を叫ぶ人はわかってないんですよ。

山口　彼らが学生の時と比べて、現在の大学教員はきちんと教育してますよ。私が学生の時、15回授業なんてやってませんでした。

中富　大学改革を言う人は、怠けている人をもっと働かせろと、評価を厳しくしろと言うわけですが、評価は可能だと思いますか？

山口　バツをつけて、給料を減らすぞ、的な評価のやり方をすると組織が壊れます。だれも自分が怠けてるなんて思ってないんだから。マイナス評価をつけられれば反感を持って、これまで以上に怠けるようになるし組織を壊しだしますよ。根拠なき競争幻想が蔓延しています。

中富　今の大学改革は、イノベーションのためのというのが前面に出て、学長権限を強化するという方向で進められていますが、この点どう思われますか？

山口　イノベーションはめったに起こりません。第4次産業革命とか言っていますが、それはつまり人類史上4回しか起こらなかったということです。しかもイノベーションの中身がIoT（アイ・オー・ティー）。発想が時代遅れ。

中富　今言われているイノベーションは、自動車産業など大企業の利益のためとしか思えませんね。

経費削減で教育と研究の危機も政府に反省なし

岡田　今の大学改革、財務省は予算減らしたいだけじゃないでしょうか。これに使えというひも付きで、しかも方向性が的外れです。

中富　学生実験用の費用さえ出ない。これでイノベーション人材を、というのでしょうかね。

岡田　今年の全大教教研集会で出た話ですが、教育経費の削減の不足分を、自分で自分に寄付をしてやりくりしていると。いまの運営費交付金の削減が学生にも不利益をおよぼしはじめています。

中富　一方でエリート教育も必要ですが、民主主義の担い手の教育も必要。バランスのとり方が大切なのに。

山口　基本は広く厚く教育し、その中から一握りの才能を見つけ出すのがいい。選択と集中はかえって非効率です。

岡田　欧米の話をする人はハーバード、ケンブリッジは、と言うけど中堅の大学のことを知らない。普通の人の教育が考えられていないですね。

中富　日本の成功は、各県に国立大学をおいたことですね。ところで、大学の自治の意義をどう捉えられますか。

山口　市民社会を守ることが重要で、そのために権力から独立していることが必要。

中富　学問の自由と言うと、学者の特権のように捉えられますが。

山口　自由には責任が伴ないますね。大学人が市民に向けて説明をしっかりしていくことが必要です。人間は感情に流されてしまうものです。大学教育は民主的社会を支えるために考える力を養ってもらうことだ、とわたしは言っています。そのことは国家に干渉されてはできません。

岡田　今の大学改革の議論は、大学はだめだ、論文数が減っている、と言っています。基盤的経費を減らし競争的にした結果だと思います。それが失敗しているのに懲りない。

山口　失敗から学ばないですね。科学的精神がないんです。それこそしっかり教育しておくべきだったのですが。

学内で民主主義を支える組合の力を発揮させたい

中富　人文社会科学の意味をどう捉えられますか？

山口　民主主義を支える基盤である、ということを共有したいと思っています。「なんでも教育すればよい」という風潮がありますが、学問的思考力を身に着けるためには反復練習が必要です。

岡田　教育方法を政府から押し付けられることへの反発があります。でもいままでどおりでいいでしょうか。日本型教育の発展型を考えていければいいですね。

山口　権限を奪われた教授会はシラけています。学内で組合しか、議論をして学長たちに物を言っていくところがなくなっています。徳島大学では、学長懇談でよく話をして、できることは対応してくれています。

岡田　組合の出すニュースは学内でよく読まれていますよ。

山口　組合へも、自主的に参加する人が出てきています。

中富　大学でこそそういう活動がしたいですよね。今年も組合活動を盛り上げていきたいですね。

今月の紙面

2～3〈各ブロック〉単組委員長「新年あいさつ」：室蘭工業大学職員組合、岩手県立大学盛岡短期大学部教職員組合、筑波大学教職員組合東京、福井大学教職員組合、京都工芸繊維大学職員組合、徳島大学教職員労働組合、宮崎大学教職員組合、熊本高専熊本キャンパス教職員組合

4〈共闘団体〉中央執行委員長「新年連帯あいさつ」：日本私立大学教職員組合連合、全国公立大学教職員組合連合会、日本教職員組合、全日本教職員組合、日本新聞労働組合連合、日本医療労働組合連合会

※一面、新春座談会の全文は「全大教時報」（第42巻 第6号：2019年2月）へ掲載予定。